

まがまが

KIZUNA

5 2020年
令和2年

特集 子ども

子どもが
大切にされる社会



INDEX

- 2 「あなたはあなたらしく」
秋元 才加さん (女優)
- 3 「子どもの人権と貧困」
阿部 彩さん (東京都立大学人文社会学部 教授)
- 4 「変化に気づく力は注意深さではない」
山崎 聡一郎さん (教育研究者)
- 5 「子ども虐待の防止に向けて」
奥山 眞紀子さん (一般社団法人日本子ども虐待防止学会 理事長)
- 6 「これがおにぎりひろばです!」
おにぎりひろばプロジェクト (姫路市)
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ふらざ



子どもは一人の人間として尊重され、守られなければなりません。しかし、家庭における子育て環境や地域社会における子どもの育ちを巡る環境の変化は著しく、いじめ、虐待、貧困など子どもの人権をめぐる問題が多発している状況にあります。

本号では、家庭や学校だけでなく、地域全体で子どもたちの育つ権利を守るために何ができるかを考えてみましょう。



あなたは あなたらしく

人権 Interview

インタビュー

Q 葛藤をどのように乗り越えたのですか。

A 色々な本を読んだり、音楽を聴いたり、一人の時間を楽しむ達人になりました。(笑)
親などにはあまり相談はしませんでした。でも、合気道を習っていたので、学校以外でのつながりを見つけられ、話を聞いてくれる友達がい

Q どのような小中学生でしたか。

A 恥ずかしがり屋なのに、人と違うことがしたい目立ちたがりでした。一人であるのも好きだけど、一人ぼっちにはなりたくはない、気難しい子どもだったと思います。身体も大きかったし、見た目や好きな服や物がみんなと違っていたので、常に周りから少し浮いていました。自分は「どこかおかしいのか」と悩む自分と「みんなと同じにしくても良いはずだ」という自分が、私の中でいつも葛藤していました。



女優

あき もと さや か
秋元 才加 さん

プロフィール

1988(昭和63)年7月26日生まれ。千葉県出身。B型。AKB48第2期生として2006(平成18)年デビュー。2013(平成25)年同グループを卒業。現在は女優として映画、ドラマ、舞台に出演する他、スポーツ番組のMCを務めるなど幅広く活躍中。NHK BS時代劇「雲霧仁左衛門5」、ミュージカル「スクールオブロック」今夏出演予定(2020年8月~)。

Q AKB48時代に心がけたことは。

A これまでAKB48のようなスタイルのアイドルや芸能人がいなかった。ので、何をめざすのか、だれをめざしたらよいか指標になるものが少なく、苦勞や戸惑いはありました。けれども、そういう点は仲間と協力しながら、個人のがんばりはチームを成長させる、チームの成長は個人に返ってくるということを常に意識して活動していました。また、だれに対してもフラットに接するということを心がけました。AKB48での活動を通して、諦めないことの大切さや、人と比べず自分の

Q 演劇や芸能界をめざしたきっかけは。

A 幼稚園のお遊戯会で初めてお芝居に触れたとき、何かに変身できることの喜びを感じました。また、小学生の時にマイケル・ジャクソンのライブを観て、私もあのステージに立ちたいと思い、芸能界をめざすようになりました。

Q いじめや友達関係で悩む子どもたちへメッセージを。

A みんなに好かれようとかがんばり過ぎて、疲れてしまう人を何人か見てきました。
『あなたはあなたらしく』
みんなではなくても、あなたのごとが大好きな友人が2人くらいは現れるはず。それでいいのです。目の前の友達を大切にしてください。今いじめにあっているあなたは、できたらいい、信頼できる大人や友人にそっと今の思いを伝え、相談してみてください。とても勇気のいることだけど、いじめを無くすためにも、小さな声でもいいのでSOSを伝えて欲しい。大丈夫。解決するよ。うにみんな努力してくれるはず。だれもいなくなったら、私に相談してください。でもいいですよ。解決できるように一緒に考えましょう。
あなたは今、可能性でいっぱい。だから、あり得ないくらいのでっかい夢を持って、キラキラ過ごしてください。努力は必ずしも報われるわけではありませんが、努力をしないとチャンスもつかめません。未来の自分のために、いつだってベストな自分でいられるようにしておきましょう！私もがんばります！

子どもの人権と貧困

東京都立大学人文社会学部 教授

阿部 彩 さん

子どもの健康・医療の権利

子どもの人権を語る時、貧困を避け通ることはできません。なぜなら、現代社会の子どもの生活は、そのほぼ全側面において「お金がモノをいう」状況だからです。

例えば、健康・医療への権利を考えてみましょう。日本が1994(平成6)年に批准している国連子どもの権利条約の第24条にも明記されているように、子どもが健康と医療サービスを得る権利を有することは日本社会の大多数の人々が同意することでしょう。実際に、日本は60年前に「国民皆保険」の制度を樹立し、医療サービスが国民にいきわたるような仕組みを作りました。しかしながら、

2020(令和2)年になった今でも、すべての日本の子どもには医療サービスがいきわたっていません。

子どもの医療サービスの現状

公的医療保険の恩恵を受けるためには、家族が社会保険つきの職についているか、国民健康保険の保険料を払っていないといけないけません。また、保険でカバーされていても、3割の自己負担金を払う必要はあります。自治体の政策により、自己負担金が免除されていても、子どもを医療機関に連れていくためには仕事を休まなくてはならず、有給休暇がない非正規雇用のひとり親などはそれができません。

大阪府が2016(平成28)年に行った調査によると、小学5年生の



プロフィール

1999(平成11)年より国立社会保障・人口問題研究所にて、室長・部長に就任。2015(平成27)年から現職。同年に、子ども・若者貧困研究センターを設立。専門は、貧困、社会的排除、公的扶助。著書に『子どもの貧困』『子どもの貧困II』(岩波書店)等多数。

た餅」です。

「お金がないならしかたがない」「お母さんが働かなくてはいけないならしかたがない」のように、「しかたがない」がまかり通る社会は、「権利」を放棄している社会です。

「権利」は、「あったらいいな」というものではありません。「権利」という言葉の重みを、いま一度、日本社会全体で確認すべきではないでしょうか。

権利が保障される社会をめざして

「権利」を唱えるのは簡単です。しかし、そこから「権利」を保障するに至るまでは、大きな隔たりがあります。そこに立ちほだかるのは、貧困です。そして、それを解決するための財源です。「権利」をどう「保障」するかを解決しなくては、権利はただの「絵」に描い



変化に気づく力は 注意深さではない



山崎聡一郎 著
伊藤ハムスター 絵
発行所：株式会社 弘文堂

「ことども六法」で伝えたいこと

ことども六法は、「ことどもの逃げ道を増やし、大人の逃げ道を塞ぐ」ことを目標に制作した本です。いじめ自殺の事件を注視していると、問題の深刻化の原因はしばしば大人が作ってしまっています。私は、加害者児童生徒を超えて真に被害者を追い詰めていく大人たちの姿に絶望し、子どもたちに「大人に無理やりにもいじめ対応をさせる力を与える」ことを考えました。しかし、本来守られるべき子どもたちが、自分の力で助けを求めなければ守られないという現状こそ、大人は真摯に向き合う必要のある問題なのではないでしょうか。

教育研究者

山崎 聡一郎 さん

日常の気づきを 得るためには

「些細なSOS」に気づくことの重要性は度々説かれますが、常に些細な変化に気づこうと気を張るのはとても大変なことです。むしろそのような態度は子どもにとっては粗探しをされているような気分になるでしょうし、かえって逆効果にもなり得ます。「些細なSOS」にいざという時に気づける準備として私が提案したいのは、確固たる「日常」を作っておくことです。例えば「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」のあいさつ、食事の時の「今日は学校どうだったの?」という声かけ。あなたの家庭では毎日やっていますか?

なんだそんなことか、と思われるか



プロフィール

教育研究者、写真家、ミュージカル俳優。合同会社Art&Arts社長、慶應義塾大学SFC研究所所員。修士(社会学)。専門は法教育、いじめ問題。著書に「ことども六法(弘文堂)」がある。劇団四季「ノートルダムの鐘」に出演するなど、ミュージカル俳優としての顔も持ち、活動の幅を広げている。板橋区演奏家協会会員。

もしもありません。しかし、実際のいじめ事例において、親が子どもの変化に気づききっかけは、このような日常の「揺らぎ」です。子どもが食卓で面と向かって、神妙な顔をしていじめを告白するなんてことはまず起こりません。毎日「今日は学校どうだったの?」と聞いていけば、返事は「別に」や「普通」といった素っ気ないものに固定化されていきますが、子どもが悩みを抱えていた時、その返事のトーンが変わったり、表情が暗くなったりします。実際にこのようなあまりにも小さな変化からいじめが発見されるケースは多いのですが、これが実現するために前提として「日常」が確立されている必要があります。

地域、学校、職場に置き換えても同

様です。隣人、同僚、友人の悩みに気づくきっかけは、普段のコミュニケーションから逸脱がひとつのきっかけになります。相手の子ども、生徒が深刻な状況にあること、あるいは相手自身がハラスメントに悩んでいることなどを察知することにも繋がります。普段のあいさつ、何気ない世間話、そんな日常をきちんと確立していたかどうかで、「今は普通じゃない」と気づけるようになるのではないのでしょうか。

いじめは子どもだけの問題ではなく、大人の間にもある問題です。だからこそ、小さな変化に気づくために、誰に対しても普段どりのように接しているか、「日常」を再確認してみませんか。



子ども虐待の 防止に向けて

一般社団法人日本子ども虐待防止学会 理事長

奥山 眞紀子 さん

これまでの 子ども虐待の捉えられ方

子ども自身が声を上げることがなく、社会が認めたくない問題である子ども虐待は、かつては社会の中で隠されている存在でした。その蓋をあけたのは1990(平成2)年に大阪で、1991(平成3)年に東京でスタートした民間団体の活動でした。それによって社会的に認識されるようになり、子ども虐待の通告数が増加し始め、日本が子どもの権利条約を批准した1994(平成6)年の後、やっと厚生省(当時)は積極的に子ども虐待の問題に取り組むようになりました。

ただ、条約批准時の内閣は、当時、子どもの権利は法律で守られているという見解でした。そのため、条約を担

保する法律もできず、その後、「児童虐待の防止等に関する法律」、「いじめ防止対策推進法」、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」など、子どもの権利に関する法律が後からバラバラと作られている状況にあります。

その間に子ども虐待の通告数は増加の一途をたどります。児童福祉法が抜本的に改正され、その理念に「子どもの権利条約の精神にのっとり」と明記され、子どもが権利の主体であることが定められたのは2016(平成28)年と条約批准後22年もたってからでした。

いち はやく
189

※一部のIP電話からはつながりません。
※通話料無料

すべての子どもの 権利を守るために

法律の理念が変わったからと言って、それだけですべてが変わるわけはありません。未だに、児童相談所の業務の一番に書かれているのは、子どもに関する親等からの相談に乗ることであり、子どもを権利侵害から守ることが第一の目的であることは明記されていません。これまでどおり家族に親的に相談に乗ることが優先され、「子どもの権利を守る」という強い意識に転換されていないと言っても過言ではないのです。その結果、命を落とす子どもが後を絶たず、その陰に「魂の殺人」としての虐待から救われない子どもは非常に多い状況にあります。



プロフィール

医学博士、小児科専門医、子どものこころ専門医、日本小児精神神経学会認定医。専門は、小児精神保健、子ども虐待、子どものトラウマなど。現在、日本小児科学会理事、社会福祉法人子ども虐待防止センター理事等を兼任。著書に「虐待を受けた子どものケア・治療」(診断と治療社)、共著に「子どもの心の診療医になるために」(南山堂)など多数。

一方、2016(平成28)年児童福祉法改正で、子ども虐待は予防や早期支援が重要であり、市区町村の子ども家庭支援の充実が必要という観点から、子ども家庭総合支援拠点の設置が定められました。厚生労働省は2022(令和4)年までにすべての市区町村に設置する方針を打ち出しています。

また、児童相談所もできるだけ身近な自治体に置けるよう、少なくとも中核市と特別区には設置が求められています。近年、虐待死事件への注目から、その中で体罰禁止が法定化されるなどの前進もありました。今後子どもの権利を守ることができる社会を構築するための努力が必要です。



これがおにぎりひろばです！

【取材先】おにぎりひろばプロジェクト（姫路市）

Q 「おにぎりひろば」プロジェクトチームについて

A 月に一度（第一または第二土曜）に、子どもたちとおにぎりを握って食べるという食育イベント「おにぎりひろば」を開催しています。現在、兵庫県立大学一・二回生11人が主体となり、企画運営を行っています。

Q 「おにぎりひろば」の企画・運営について

A 毎月違う食材を使ったおにぎりを提供するので、開催前にはおにぎりの味の試作を行い、作り方や材料の量などをしっかりと確認して準備しています。開催後には

反省会を開き、意見交換したり、よりよい活動に向けて話し合ったりしています。

「おにぎりひろば」では、子どもたちに、自分で作って食べることで、だれかと食事の時間を一緒に過ごすことを体験してもらい、食の楽しさを伝えたいと考えています。また、食育の一環として、様々な食材を使うことで、「こんな食材があるんだよ、栄養が豊富だよ」と伝えていきます。参加人数は毎回子ども20〜30人ほど、大人20人ほどで、小さなお子さんから大人まで楽しんでもらっています。

Q 活動中の様子について

A みなさん和気あいあいとしていて、私たちとの会話も弾みます。子どもたちは、「自分で作ったから食べる！」「苦手な野菜に挑戦したり、「家族の分も作る！」と張り切ったりしています。開催回数を重ねる中で、毎回参加している子どもたちの成長も感じることができます。家でも同じようにおにぎりを握ると聞いたときはうれしかったです。



活動中は、言葉遣いに気をつけ「嫌」「苦手」といった否定的な言葉は使わないようにしています。また衛生面やアレルギーについては特に注意を払っています。「おにぎりひろば」で「ご飯デビュー」した子がいたときは、うれしい反面、心配でもありました。



Q 今後の活動の抱負

A 私たちも参加したみなさんに喜んでもらえたり、「来月もまた来ます」と言ってもらえたりすることで、活動を認められた喜びややりがいを感じています。子どもたちの「コミュニケーション」は、本当に貴重な体験です。これからも食材や味付けを工夫しておにぎりの幅を広げ、自分で作って食べる喜びを伝えながら、子どもたちの居場所として活動を続けたいです。

みんなでいじめをなくすために

いじめ、不登校、友人関係や進路、体罰だけでなく、子どもたちのこころの悩みの解消や子どもたちのSOSの早期発見を図るため、相談窓口を設けています。下記へご連絡ください。

◆ひょうごっ子〈いじめ・体罰・子ども安全〉相談24時間ホットライン
(ひょうごっ子悩み相談センター)

- 電話相談(24時間) フリーダイヤル **0120-0-78310** (携帯、固定電話)
- 面接相談(要予約) 月～金の9:00～17:00 (祝祭日と12/29～1/3は休み)
※申込時に、相談日時を決定
- 相談場所 ひょうごっ子悩み相談センター相談室(県立教育研修所本館1階)



ふれあい サロン

投稿 & クロスワードで

「オリジナル
ダブルクリアファイル」を
プレゼント!

問 A～Mの文字を順番に並べると、何という言葉になるでしょう?

1	J	2		3	L		4		5
6			C			7	M		
		8		9	D	E			
10	11			12					13
		14		F		15		16	I
17	A	B			18	G		19	
20			K						H

↓ タテのカギ

- 子ども虐待のない社会をめざす市民運動のシンボルであるリボンの色は?
- できるだけのことをした後は、〇〇を天に任せましょう
- にこにこ、きょうも〇〇〇で頑張ろう!
- 5月5日は“〇〇〇の節句”です
- 美しくすること。「市街の〇〇に努める」
- 非常に細かい石の粒ばかりが集まった海岸
- 革新的な人々の集団。反対語は“右派”です
- 責任や負担がなくなり気が楽になることを「〇〇〇〇が下りる」と表現します
- 画家や彫刻家などの仕事部屋
- 大阪湾に臨む白砂青松の海岸で知られる神戸市西部の地名
- やり損なうこと。「ケアレス〇〇」
- サスペンスドラマなどで刑事のことをこう呼んでいます

→ ヨコのカギ

- エールを送って元気づけること
- “かわいい子には〇〇をさせよ”
- 三匹の子ぶたが作った家のうち最も丈夫なものはこれでできています
- “〇〇〇を惜しんで勉強する”
- 年端（としは）のいかない子ども
- その時々売買によって変わる市場価格
- 今年の“〇〇の日”は5月10日です
- お祝いの席などで出される魚
- 帆を張るために船に立てる柱
- 明智光秀は斎藤道三が権勢を振っていたこの国で生まれました
- 遊びに使う弾力のある球。「〇〇つき」
- 底がゴムでできた布あるいは革製の運動靴



3月号の答え
カケガエノナイソソザイ

読者からのお便り～3月号を読んで～

のじぎく文芸賞詩部門の最優秀賞を読んで。

私の娘が通う小学校でも、クラスの一員としてサポートが必要な仲間がいます。保育園から同じように遊ぶなかで、クラス全員、学校全体でサポートしあっています。みんなちがってあたり前!!という先生の言葉どおり、子どもたちの「一緒にできる」精神を見習いたいです。
(神崎町 かおママさん)

生稲晃子さんの記事、興味を持って読みました。経験がない分、軽々しく共感できるとは言えません。しかし、日々の自分の心の持ち方を、ちょっと立ち止まって考える時間となりました。

(丹波篠山市 ピー助さん)

「読者からのお便り」の投稿掲載者(令和2年7月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)とに、「オリジナルダブルクリアファイル」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通じた心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※投稿掲載時はペンネームの使用も可能です。 ※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

はがき、FAX、Eメールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

応募先

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目22番15号 県立のじぎく会館内

(公財)兵庫県人権啓発協会「きずな」ふれあいサロン係

TEL: 078(242)5355 FAX: 078(242)5360 Eメール: info@hyogo-jinken.or.jp

*応募者および投稿者の個人情報は管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



締め切り
5月22日(金) 必着



人権イメージキャラクター
「人KENまもる君」

「子どもの人権110番」



「人KENあゆみちゃん」

いじめ、体罰、不登校や親による虐待といった、子どもをめぐる人権問題は周囲の目につきにくいところで発生していることが多く、また被害者である子ども自身もその被害を外部に訴えるだけの力が未完成であったり、身近に適切に相談できる大人がいなかったりする場合が少なくありません。

「子どもの人権110番」は、このような子どもの発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用相談電話であり、子どもだけでなく、大人もご利用可能です。

電話は、最寄りの法務局・地方法務局につながり、相談は、法務局職員又は人権擁護委員がお受けします。相談は無料、秘密は厳守します。法務省のホームページでも相談を受け付けています。

【電話番号】 フリーダイヤル **0120-007-110** (全国共通・無料) ※一部のIP電話からは接続できません。

【受付時間】 平日午前8時30分から午後5時15分まで

【インターネット人権相談受付窓口】 <http://www.jinken.go.jp>

兵庫県立のじぎく会館ご利用案内

のじぎく会館は、県民の皆さまの研修や講習、会議などに利用していただくことができます。ぜひ、ご利用ください。

【利用ご案内】

- 利用時間 9時から17時まで(午前のみ、午後のみ可)
- 休館日 国民の祝日(振替休日を含む)、年末年始(12月29日～1月3日)
(その他改修・清掃等で使用できない日があります)
- ※新型コロナウイルス感染防止のため5月6日まで臨時閉館しています。
詳細については協会のホームページでご確認ください。

【施設ご案内】*括弧内は室数

- 大ホール(1):360人(机使用の場合240人) ●大会議室(1):126人
- 特別会議室(1):24人 ●中会議室(8):24～42人
- 小会議室(4):12～15人

<利用にあたって>

- ・事前申し込み必要、使用料金必要
(使用料金例:中会議室終日利用 3,300～3,900円)
- ・所定の申請書に必要事項を記入して申し込んでください。
- ※申請書は受付にあります。
また、当協会ホームページからダウンロードができます。

<無料貸し出し備品>

- ・マイク(有線、ワイヤレス、ピンマイク) ・ホワイトボード ・プロジェクター
- ・スクリーン ・PCコード など



☆☆☆無料でご利用いただける部屋もあります☆☆☆

○ふれあいルーム(多目的室84人)

学習・交流等に自由に利用することができます。

(専用使用の場合は有料となります。また、専用使用中は、他の人は利用できません。)

○視聴覚室

人権関係のビデオの視聴ができます。

○図書資料室

人権に関する図書、資料等を閲覧することができます。

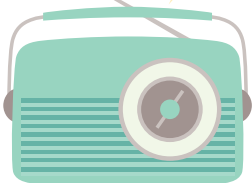
(雑誌を除き、貸出を行っています。)

※詳細については、当協会ホームページでもご覧になれます。
お問い合わせ、お申込みは、右下欄外までご連絡ください。

ラジオ関西

「谷五郎の笑って暮らそう」

(毎週火曜日10:00～13:00)で、
12:35頃から「きずな」の記事等を
紹介しています。



HALE TIME



昨今、いじめや虐待など、子どもたちの人権や命が守られない事件・事案が相次いで起こっています。さまざまな対応が進められているはずなのに、なぜ防げないのか、悲しい報道を聞くたびに胸が痛みます。

今月号の寄稿者、山崎聡一郎さんは、著書「こども六法」のあとがきで、「どうすれば苦しんでいる子どもに気付き、救出することができるかを常に考えていくことは、わたしたち大人に求められた義務である」と私たちに呼びかけています。

子どもたちを社会全体で見守り、育てていくために、私たち大人は何ができるかを、一人ひとりがしっかりと考えていかねばならないと強く思います。

(郷)

「きずな」は、協会ホームページからも
ご覧になれます。

兵庫県人権啓発協会

検索



(公財)兵庫県人権啓発協会 〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15 県立のじぎく会館内
TEL 078(242)5355 FAX 078(242)5360 info@hyogo-jinken.or.jp

2020(令和2)年5月発行